

上海だより

上越市立城北中学校生徒向けだより

第4号

上海日本人学校
浦東（プードン）校

松井的上海

令和元年 10月 29日

発行者 松井 明

城北中のみなさん、お久しぶりです。先日のスタートライン公演、合唱祭お疲れさまでした。城北中のホームページで皆さんの活躍を見させてもらっています。

さて、先日、家族で電車に乗っていたときの事です。その車内は、とても混雑していて、停車する駅ごとに人がどんどん乗ってくる状態でした。しばらくすると、もうすぐ私たちが降りる駅です。運悪く、私たちは開くドアの反対側にいました。ぎゅうぎゅう詰めの車内。息子は座席に座っていましたが、私と妻は立った状態です。

私たち家族は、駅に着いたらどのようにして降りるか作戦を考え、日本語でやり取りしました。

「駅に着いたらどうやって降りる?」「不好意思（ブー ハオ イー ス：中国語で『すみません』の意味）」って言って人混みをかき分けていけばいいんじゃないかな?」「今から少しずつ動き始めた方がいいかな?」

「じゃあ、健介（私の息子）の席を誰かに譲って、少しずつ動こう」と、息子を立たせ、近くにいた中国人親子に席をゆずると、そのお父さんが「あ・り・が・と・う」とカタコトの日本語で言うではありませんか。

「あれっ?!日本語しゃべれるんですか?」と聞き返すと、今度はそのお母さんが「あ・り・が・と・う」とカタコトの日本語で言うのです。そうこうしているうちに、電車は駅に着いてしまい、我々は「不好意思（ブー ハオ イー ス）」と言いながら、人混みをかき分け、電車を降りることができました。電車を降りてから、「あの中国人親子は、私たちの満員電車下車作戦を一部始終聞いて理解していたのかも」と思うと少し恥ずかしくなりました。

実は私たちが上海に来てから、このように中国の人からいきなり日本語で話しかけられることが何度もあります。中国の人は、日本好きな人が意外に多いです。そして、日本語を勉強している人も多いです。理由を聞くと、日本のアニメに興味をもって、日本文化に興味をもったり、日本語を勉強したりしているそうです。

この前、映画館の前を歩いたら、「名探偵コナン（中国名：名偵探柯南）」のポスターがありました。息子が「名探偵コナン」が好きということもあり、家族で「名探偵コナン」を観に映画館へ行きました。音声は日本語で、字幕が中国語。日本人の私にとっては日本語で映画を観ることができたので、日本で映画を観ているように楽しむことができました。

ちなみに、「千と千尋の神隠し（中国名：千与千尋）」がこの6月に中国で公開となり、話題になっていました。もうすぐ、日本でこの夏に話題になった「天気の子（中国名：天气之子）」が中国で公開されるそうです。中国では外国の映画は直前まで公開日を予告しないそうですが、年内には公開されるようです。とても楽しみです。

